第5回市民憲章等審議会 要約会議録

1 開催日時：平成20年11月4日（金） 午後2時開会 午後4時5分閉会

2 場 所：天草市役所 庁議室

3 出席者：

委員 荒木会長、高田副会長、洲崎委員、橋口委員、河内委員、濱本委員、荒平委員、
松本郁子委員、仁田委員、谷委員、大塚委員、連尾委員、松本英二委員、上委員
(欠席者 永田委員)

事務局 金子企画部長、濱企画課長、福田課長補佐、小川企画調整係長、松下主任

4 内 容：1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1)市のシンボルの選定について

(2)市民憲章の制定について

(3)市民と行政の協働指針（案）について

(4)その他

4 閉会

5 会議の概要：

(1)市のシンボルの選定について

- ・天草市の花「はまぼう」は、『はまぼう』と表示する。
- ・天草市の木「あこう」は、『あこうの木』と表示する。
- ・天草市の鳥「かもめ」は、『かもめ』と表示する。
- ・天草市の魚「たい」は、『鯛』と表示する。
- ・「その他」のシンボルの項目名称は、『天草のたから』とする。
- ・「天草のたから」の「いるか」は、『イルカ』と表示する。
- ・「天草のたから」の「はいやぶし」は、『ハイヤ』と表示する。

〈主な意見など〉

【天草市の花「はまぼう」の表示方法について】

(委員)

○漢字「浜朴・黄槿」は非常に難しい。

(委員)

○ニュアンス的にはひらがなが良い。

【天草市の木「あこう」の表示方法について】

(委員)

○「あこうの木」と「木」をつけた方がインパクトがある。

(委員)

○市民は通常、「あこうのき」と呼んでいるので、表示も「あこうのき」とした方が良い。

(委員)

○「あこうの木」より「あこうの樹」の方が存在感がある。

(委員)

○通常は「あこうの木」を使っている。

(会長及び委員)

○最終的に、「あこうの木」に賛成の委員が12人、「あこうの樹」に賛成の委員が2人。

【天草市の鳥「かもめ」の表示方法について】

(委員)

○地中海の気候に似ている牛深に「かもめ」がおり、西洋的なイメージがあるためカタカナ表示が良い。

(委員)

○荒波の海を飛んでいる「かもめ」は強いというイメージがあり、カタカナの方が強いというイメージに合うため、カタカナ表示が良い。

(委員)

○その他のシンボルの「イルカ」はカタカナ表示が良いと思うので、バランスを考えて「かもめ」はひらがな表示が良い。

(会長及び委員)

○最終的に、「かもめ」に賛成の委員が8人、「カモメ」に賛成の委員が6人。

(会長)

○ポスターなどに掲載する場合などを考えると、ひらがなならひらがなで全てのシンボルの表示は統一した方が見栄えが良いという考えもある。

【天草市の魚「たい」の表示方法について】

(委員)

○シンボルの表示方法は統一した方が良いという考え方からいくと、ひらがな表示が良い。

(委員)

○「たい」は魚の王様であるため、格調の高さを感じさせる漢字表示が良い。

(委員)

○シンボルや市民憲章は子どもにも理解してもらう必要があるため、子どもにも分かりやすいひらがな表示が良い。

(委員)

○魚を全国に出荷するときには「天草鯛」と漢字表示を使用する。

(委員)

○シンボルとして全国にアピールするのであるから、通常商品の出荷などで使用する漢字をシンボルでも使用した方が良い。

(委員)

○子どもにも分かりやすくするのであれば、漢字表示にふりがなを付ければ良い。

(会長及び委員)

○最終的に、「鯛」に賛成の委員が11人。

(会長)

○ふりがなについては、状況に応じて付けるようにした方が良い。

【「その他」のシンボルの選定について】

(会長)

○市民からの応募は多数あっているが、市の象徴性を表し、強いインパクトを与えるには、数を限定した方が良い。

○市民からの応募件数を見ると「いるか」が圧倒的に多い。天草市の「いるか」は回遊せずに天草に住みついているという特徴があるため、市のシンボルにしたいと思う市民が多かったのではないか。

(委員)

○牛深の「はいやぶし」は元祖として有名であり、シンボルとして選定してほしい。

(委員)

○全国に発信するものとして「はいやぶし」は絶対に残さなければならない。

(委員)

○各地域に優れたものはたくさんあるが、多数の市民がシンボルとして応募したのは「いるか」であり、強いインパクトを与えるためには1つに決めた方が良い。

(会長)

○個人的には、「はいや」と言えば牛深という印象を強く持っている。「はいや」と言えば天草というイメージに変えることができるのかというのが気になる点である。

(委員)

○「いるか」は倉岳や栖本にもいるが、「はいや」と言えば牛深だと感じる。

(委員)

○「牛深ハイヤ」だけでなく、「天草ハイヤ」もある。「はいや」は、天草市として全国に発信すべき言葉だと思う。

(委員)

○市民が1票しか応募していない「はいやぶし」を審議会でシンボルとして拾い上げるべきなのか疑問がある。

(委員)

○「いるか」と「はいやぶし」を1つの文章にして、2つとも拾い上げることはできないか。

(委員)

○「はいやぶし」に1票しか応募がなかったのは市民アンケートの設問方法に基づくものであり、1票しかないから選考から外すというのはどうか。

(会長・委員)

○最終的に、「いるか」を選定することに委員全員が賛成。

(会長・委員)

○最終的に、「いるか」と併せて「はいやぶし」を選定することに賛成の委員は12人。
【「その他」のシンボルの項目名について】

(委員)

○「いるか」と「はいやぶし」は別の項目として名称をつけた方が良い。

(会長・委員)

○「いるか」と「はいやぶし」を別の項目とすることに賛成の委員は5人。一つの項目とすることに賛成の委員は9人。

(委員)

○項目の名称について、「天草市民の宝(物)」か「天草のたから」が良い

(委員)

○項目の名称について、市民憲章の文言にも関連する「自然と文化のもやい」が良い。

(会長・委員)

○最終的に、「天草市民の宝(物)」に賛成の委員は6人。「天草のたから」に賛成の委員は8人。

【「その他」のシンボルの表示方法について】

(会長・委員)

○「いるか」の表示について、「イルカ」に賛成の委員は12人。「いるか」に賛成の委員は2人。

(会長・委員)

○「はいやぶし」は、昔から「ハイヤ」と呼ばれ、理解されてきているので、「ハイヤ」と表示する。

(2) 市民憲章の制定について

- ・市民憲章は、小委員会で作成した市民憲章(案)のとおり決定する。

〈主な意見など〉

(小委員会委員長)

○市民から応募のあった54作品の中から2作品を選定し、これを基本として市民憲章(案)を作成した。

○①小中学生でも理解できる分かりやすさ、親しみやすさ ②次世代へ引き継いでいく価値 ③生活・日常性の視点 ④天草ならではの価値の創造 という4点を考慮して市民憲章(案)を作成した。

○「感謝の心もち、豊かな『しぜん』を守ります」という文言は、天草の美しい海と緑の自然、奉仕の心を考慮した。

○「ふるさとを愛し、誇れる『ひと』を育てます」という文言は、人間性、郷土愛を考慮した。

○「恵まれた風土を活かし、『ものづくり』に励みます」という文言は、産業と活力、勤

労を考慮した。

○「伝統と文化を学び、安らぎのある『まち』を創ります」という文言は、歴史、文化、教養を考慮した。

○「世代の調和を大切に、健やかな『和』を広げます」という文言は、子どもから老人まで健康で助け合い、支えあい、信じあい、地域の輪を考慮した。

(委員)

○「天草市民憲章」と「天草市市民憲章」のどちらが正しいのか。

(事務局)

○「天草市市民憲章」と訂正する。

(委員)

○汗を流して勤労することの喜びを感じられるような内容を加えることはできないか。

(小委員会委員長)

○産業や活力、勤労という意味合いを、「ものづくり」という表現で表している。

(会長)

○前向きに意欲をもって取り組もうということが「ものづくり」で表現されているのではないか。

(委員)

○市民憲章を子どもから大人まで多くの市民に知ってもらうような取り組みをお願いする。

(3) 市民と行政の協働指針（案）について

・「市民と行政の協働指針（素案）」に対するパブリックコメントを行う。

〈主な意見など〉

(会長)

○内容を検討して、意見等があれば後日、事務局に提出してほしい。

(4) その他

〈主な意見など〉

(委員)

○市民憲章等の制定後の取り扱いに関する要望というものを会長名で答申に添えて提出してはどうか。次回の審議会でも検討いただきたい。